

## 平成 30 年 3 月期第 2 四半期決算（4 月～9 月累計）説明資料

### 【当第 2 四半期業績の概要】

#### 1. 受注高

当社グループの受注高につきましては、グループの総力を挙げ受注確保に向けて営業活動を展開しました結果、前年同四半期比 16.5%増の 12,027 百万円となりました。

受注高の内訳につきましては、土木事業は多様化する総合評価落札方式への徹底した対応の強化や連結子会社の主力事業である PCマクラギ事業に対する営業強化など、グループの総力を挙げて受注高の確保に努めた結果、増加傾向にある高速道路会社の大規模更新工事などの受注により、前年同四半期比 43.2%増の 8,501 百万円となりました。

一方、建築事業は、回復基調が継続しているマンション事業や住宅分野での耐震補強事業及び PcaPC 事業の営業強化に努めましたが、耐震補強工事の発注遅延により前年同四半期比 20.6%減の 3,275 百万円となりました。

また、不動産賃貸事業は、テナント獲得の競争激化は依然として継続しており、入居率の安定化を目指し営業活動を展開しましたが、前年同四半期比 0.6%減の 238 百万円となりました。

#### 2. 売上高

当社グループの売上高につきましては、前年同四半期は他社が起こした高速道路建設工事の事故による工事一時中止などの影響により土木事業の売上高が低迷しましたが、当四半期は手持工事が順調に進捗したことから、前年同四半期比 34.4%増の 12,886 百万円となりました。

売上高の内訳については、土木事業 10,088 百万円（前年同四半期比 47.7%増）、建築事業 2,679 百万円（前年同四半期比 1.6%増）、不動産賃貸事業 118 百万円（前年同四半期比 1.7%減）となりました。

#### 3. 損益

当社グループの損益につきましては、当社個別の売上高が前年同四半期に比べ 32 億円程度増加したことに加え、工事利益率の好転などにより、営業利益 704 百万円（前年同四半期は営業損失 44 百万円）、経常利益 687 百万円（前年同四半期は経常損失 60 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益 574 百万円（前年同四半期は純損失 87 百万円）となりました。

当第 2 四半期（4 月～9 月累計）連結業績と前年同四半期連結業績との比較

（単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	10,323	12,027	1,703	16.5%	2期振りの増加
売上高	9,586	12,886	3,299	34.4%	2期振りの増収
営業利益	△44	704	748	—	黒字転換
経常利益	△60	687	748	—	黒字転換
四半期純利益	△87	574	662	—	黒字転換

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【参 考】

### ① セグメント別受注高、売上高、繰越高（連結）

#### ○前期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	24,652	86.9	24,426	82.4	△ 226	△ 0.9
建築事業	3,698	13.1	5,186	17.5	1,487	40.2
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	5	0.0	29	0.1	23	414.5
合 計	28,357	100.0	29,641	100.0	1,284	4.5

（注）「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

#### ○受注高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	5,937	57.5	8,501	70.7	2,564	43.2
建築事業	4,123	40.0	3,275	27.2	△ 848	△ 20.6
不動産賃貸事業	239	2.3	238	2.0	△ 1	△ 0.6
その他	23	0.2	12	0.1	△ 11	△ 47.0
合 計	10,323	100.0	12,027	100.0	1,703	16.5

（注）「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

#### ○売上高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	6,829	71.2	10,088	78.3	3,259	47.7
建築事業	2,636	27.5	2,679	20.8	43	1.6
不動産賃貸事業	120	1.3	118	0.9	△ 1	△ 1.7
その他	0	0.0	0	0.0	△ 0	
合 計	9,586	100.0	12,886	100.0	3,299	34.4

（注）「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

#### ○次期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	23,760	81.7	22,839	79.4	△ 921	△ 3.9
建築事業	5,186	17.8	5,782	20.1	596	11.5
不動産賃貸事業	119	0.4	119	0.4	0	0.5
その他	28	0.1	41	0.1	12	45.9
合 計	29,094	100.0	28,783	100.0	△ 311	△ 1.1

（注）「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

② 個別業績の概要

(1) 当第2四半期（4月～9月累計）個別業績と前年同四半期個別業績との比較（単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	9,767	11,337	1,569	16.1%	2期振りの増加
売上高	9,238	12,496	3,257	35.3%	2期振りの増収
営業利益	△47	692	739	—	黒字転換
経常利益	△56	681	738	—	黒字転換
四半期純利益	△82	569	651	—	黒字転換

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) セグメント別受注高、売上高、繰越高（個別）

○前期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	24,652	86.9	24,426	82.4	△ 226	△ 0.9
建築事業	3,698	13.1	5,186	17.5	1,487	40.2
不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—
その他	5	0.0	29	0.1	23	414.5
合計	28,357	100.0	29,641	100.0	1,284	4.5

(注) 「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

○受注高

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	5,381	55.1	7,811	68.9	2,430	45.2
建築事業	4,123	42.2	3,275	28.9	△ 848	△ 20.6
不動産賃貸事業	239	2.5	238	2.1	△ 1	△ 0.6
その他	23	0.2	12	0.1	△ 11	△ 47.0
合計	9,767	100.0	11,337	100.0	1,569	16.1

(注) 「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

○売上高

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	6,481	70.2	9,698	77.6	3,217	49.6
建築事業	2,636	28.5	2,679	21.4	43	1.6
不動産賃貸事業	120	1.3	118	1.0	△ 1	△ 1.7
その他	—	0.0	—	0.0	△ 0	△ 100.0
合計	9,238	100.0	12,496	100.0	3,257	35.3

(注) 「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

○次期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	23,552	81.5	22,539	79.1	△ 1,013	△ 4.3
建築事業	5,186	18.0	5,782	20.3	596	11.5
不動産賃貸事業	119	0.4	119	0.4	0	0.5
その他	28	0.1	41	0.2	13	45.9
合計	28,886	100.0	28,483	100.0	△ 403	△ 1.4

(注) 「その他」は、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

## 【平成 30 年 3 月期通期の見通し】

### 1. 受注高

当社グループの受注高につきましては、土木事業は多様化する総合評価落札方式への更なる対応強化や連結子会社と連携した鉄道事業への積極的な営業展開により、受注確保に努めます。また、建築事業は回復基調が継続しているマンション事業や増加が見込まれる住宅等の耐震補強事業及び PcaPC 事業の営業を更に強化することで、受注高は 27,400 百万円（土木事業 20,000 百万円、建築事業 7,000 百万円、不動産賃貸事業等 400 百万円）程度を見込んでおります。

### 2. 売上高

当社グループの売上高につきましては、手持工事の順調な進捗により、30,000 百万円（土木事業 22,630 百万円、建築事業 7,010 百万円、不動産賃貸事業等 360 百万円）程度を見込んでおります。

### 3. 損益

当社グループの損益につきましては、「安全・品質・コスト」の3点を重点項目として、事故や災害、品質不良による損失の排除、原価管理の徹底、施工や生産の省人化・省力化などを一層進めることで、営業利益 920 百万円、経常利益 880 百万円、当期純利益 720 百万円程度を見込んでおります。

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と前期実績との比較

(単位：百万円)

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	22,934	27,400	4,466	19.4%	2期振りの増加
売上高	21,650	30,000	8,349	38.6%	3期連続の増収
営業利益	543	920	376	69.3%	3期振りの増益
経常利益	520	880	359	69.2%	3期振りの増益
当期純利益	534	720	185	34.7%	2期連続の増益

### 【参考】

平成 30 年 3 月期通期個別業績予想と前期業績との比較

(単位：百万円)

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	22,025	26,300	4,275	19.4%	2期振りの増加
売上高	20,741	29,100	8,358	40.3%	3期連続の増収
営業利益	496	880	383	77.1%	3期振りの増益
経常利益	486	850	363	74.6%	3期振りの増益
当期純利益	508	700	191	37.6%	2期連続の増益